

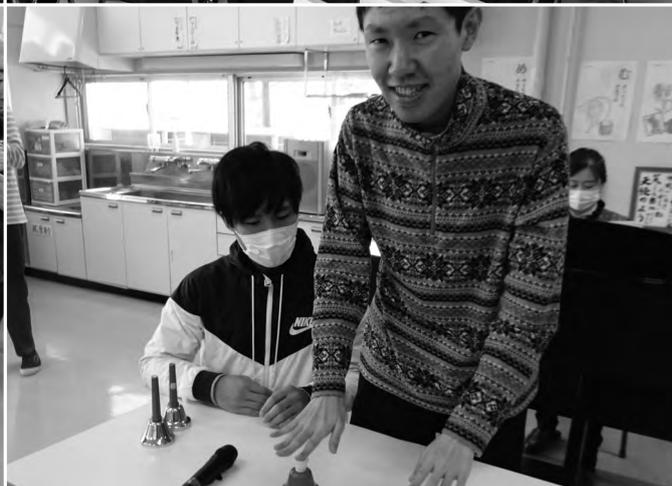
# はばたき

平成29年

4月30日

第92号

発行者 社会福祉法人 新生会 障害者支援施設 第二新生園 鈴木 長 幸  
岩手県紫波郡矢巾町大字太田 17-54 TEL(019) 697-8011 FAX(019) 697-8013



## 主な内容

- ◎ 施設長あいさつ……………P2
- ◎ 医務室から・給食室から……P3
- ◎ 各事業の様子 ……………P4~5
- ◎ 行事から ……………P6~7
- ◎ お知らせ……………P8

『ふれあいDay』  
での音楽療法の様  
子です。  
親子でダンス、  
触れるだけで音が  
鳴る、自然と笑顔  
になれる時間でし  
た。

# 小さな足跡から

施設長 鈴木長幸

近年、障がいのある方々の芸術性が脚光を浴び、その分野が確立されてきています。

国際的にはアール・ブリュット展 (Art Brut、「生(なま、き)の芸術」(フランス人画家・ジャン・デュビュッフが提唱)) が有名ですが、もともとは、「正式な美術教育を受けずに発表する当てもないまま独自に作品を制作し続ける方の芸術を含む概念」とのことです。日本では、障がい者芸術に「エイブル・アート」と名付けて全国的に活動している団体もあるようですし、本県に目を向けると、「きりらアート・コレクション」(いわて・きりらアート協会)も先駆けとなって障がいのある方々の日常から生まれる個性豊かな創作を芸術として広く発信しています。

この3月、矢巾町活動交流センター「やはパーク」のロビーの一角に当園利用者さんの作品を展示する機会を得ました。これは、職員のアイディアと場を提供してくだ

さった同施設様のご好意により実現したものです。展示したのは3名の利用者さんの作品合わせて6点という「美術展」には遠く及びませんが、利用者さんの芸術性を地域の方々に知っていただく取組の一步となりました。

昨年に、園内事務室前に清涼飲料の自動販売機を設置しました。ご存知のように、第二新生園は田園地帯の真ただ中にあります。屋外での活動にはとても都合がよいのですが、商業施設からは遠く離れており、一番近い自動販売機



『やはパーク』ロビーでの作品展示

までは歩いて10分、最も近いコンビニエンスストアまでは約2kmと、度々行ける状況ではありません。そのため、特に入所利用者さんにとっては自分でお金を使うという機会が少ないことが課題でした。

自動販売機の導入については職員間で賛否両論ありましたが、数か月をかけて議論した結果、利用者さんのこだわり等への対策を施すことで実現しました。他施設と比べて遅ればせとの感がありますが、高齢傾向が進んでいる利用者さんへの支援に関するこれも小さな一歩だと思っています。

年末に社会福祉法人新生会ではホームページをリニューアルするとともに、各施設がツイッターで話題や情報を迅速にお伝えする取組を始めました。当園でもすでに発信していますので是非アクセスしてください。

秋以降の感染症の流行期は、これまで行ってきた対策の経験を生かし、早めの対策を徹底したことが功を奏し、なんとか乗り切ってきています。ただ、施設の構造上、感染症の対策を行うことが、利用者さんの活動を限定的にしたり、来園される方々にご面倒をおかけ

したりすることにもなり、心苦しいのも現実です。しかし、利用者さんの健康、安全は常に最優先と考えています。

3・11東日本大震災・津波のあの日が巡り来る度に、被災地の方が異口同音に語るように、「平穏が何より」との思いが強くなります。今年度も多くの皆様に支えられ、83名の利用者さん、42名の職員が平穏に年度末を迎えることができました。しかし、今年もまた本県を襲った10号台風により、多くの方が被害に遭われ、尊い命も落とされ、また福祉施設の防災の在り方が問われることになりました。

新年度の取組(課題)として、福祉サービスマス第三者評価受審、生活介護棟整備(整備目標・平成30年度、既存棟の修繕、業務改善の推進を重点事項としています。そして、自然災害に対する避難計画の作成と訓練も行わなければならないと考えています。

地面が緑色に変わり始めるとともに当園でも平成29年度がスタートしております。

新たな1年、皆様には変わらぬご指導、ご支援をよろしくお願ひ申しあげます。

医務室より

看護師 大澤 梅子

今シーズンもインフルエンザやノロウイルスの罹患者が出ず穏やかに経過しております。5月の連休あたりまでは安堵せず引き続き感染予防に努めていきたいと思っております。

2月3日(金)に利用者さんの健康診断を終えました。数名の方が精密検査が必要となりましたが医療機関を受診し大事には至りませんでした。がん検診では早期発見につながった方がおられました。

開所後30年近く経つと利用者さんの年齢も徐々に高くなってきています。知的障がいのある方々は健常者と比較して心身的機能低下が早いと言われており、最近では何気ないことで転倒する方も多くなってきた様に感じます。活気がなく食事の摂取量が落ちていたりすると体調が悪いのか、精神的なことかなのか、あるいはどこか痛みがあるのか、判断が難しい場面が多々あります。日頃の些細な体調変化にも一層注視しなければならぬと思っております。また、一所懸命手振りで教えてくれようとする利用者さんもおられますので、応えられるよう努力していきたいと思えます。

健康維持のために重要視されている口腔ケアに関しては、みちのく療育園歯科と訪問歯科で定期的に診察、治療を受けています。また、みちのく療育園から歯科衛生士さんが来園して利用者さんのブラッシング指導も実施される様になりました。だれでも年齢を重ねていくと共に歯の不具合が多少出てきます。いつまでも若い時と同じ様に維持することは難しく常用薬によっては歯肉増殖や、基礎疾患による歯骨の脆弱化があったり、歯の食いしばりで動揺が出てきたりと治療を施しても、やむを得ない抜歯も出てきます。

利用者さんに検査や治療が必要となった場合は、保護者の方に説明し、同意の下で進めてきており、付き添い等のご協力も得てきております。今後ともよろしくお願いいたします。

日々利用者さんの笑顔に癒されていきます。健康で活動的な日常生活が送って行けるよう支援していきたいと思えます。

平成 28 年度の通院状況 (延べ人数)

診療科	人数	診療科	人数
内科	229	耳鼻科	76
整形・外科	27	婦人科	6
精神科	78	脳神経外科	5
歯科	227	リハビリ	63
眼科	4		
皮膚科	168	計	953

給食室より

管理栄養士 木村 敦子

当園でも食材の相次ぐ値上がりや調理業務委託費の増額により給食運営に一層の工夫と見直しを求められています。

その取組として全食材の納入価格の見直しを図りました。今まで使用していたものから安価な食材・調味料に変更、朝食提供のひとり1本の瓶牛乳提供を大パックでの納品に変更しコップに注ぎ分けの提供に変更、毎月の誕生会でのケーキを冷凍デザートなどに変更、同等の栄養価で種類や部位、産地を変更して発注するなど、できるだけ食事の提供レベルを下げずに食材費の削減に取り組む事を目標にしました。国内での異常気象などの影響を受け入荷困難となる食材、高騰する食材があり急遽代替品での提供を余儀なくされる事もありましたが、どうにか予算内での給食提供ができる見込みとなりました。

残念ながらこれまでに比べて食材の地産地消率は低くなってしまいました。当園の就労継続B型の利用者さんが栽培した農作物『じゃが芋・南瓜・さつまいも』や『山ぶどう』の会様への作業参加で頂戴した『山ぶどう』をジュー

スに加工し給食で提供する等、身近な旬の恵みを地産地消する理想の形での給食は自慢するところで



す。一方、利用者さんの障がいや健康状態に合わせた様々な形態での給食の提供も重要になりました。特に、希望献立や行事食の時にミキサー食、きざみ食、おかゆや軟飯対象の利用者さんに安全且つ見た目にも満足いただける給食を提供することが課題です。今年の寿司の日には、試みにソフト食のお寿司を提供してみました。ろ、とても喜んでいただきました。食事は利用者さんにとって大きな楽しみです。皆さんに満足して頂けるより良い給食をと日々思っております。利用者さん代表も参加する給食委員会では要望等をお聞きし、可能な限りその希望を生かすよう努めています。これからも利用者さんの希望をかなえられる給食提供に尽力していきたいと思えます。

各事業の様子

入所・生活介護

生活支援員 村上 大介

入所・生活介護では余暇支援として散歩、カラオケ、刺し子など得意な作業活動などを行い皆さんに楽しんでいただいています。また、「楽しませたい」をコンセプトに毎月「お楽しみ会」と銘打ってゲーム等のレクリエーション、スミージーやケーキのトッピング等の調理活動、ハロウィンパーティーや豆まきなど季節行事に合わせた活動を行いました。中でも12月には「忘年会」として一年を振り返っていただくように、皆さんの活動を大画面に映し映画館気分



は今年頑張った事の表彰式を行いました。賞状をもらって照れくさがる方や、満面の笑みで意気込む方など様々な様子が見られ、とてもうれしく思いました。これからも利用者さんの声に耳を傾けながら喜んでいただける活動を企画していきます。



楽しんでいただきました。自分の姿を嬉しそうに笑う姿が印象的でした。鑑賞後に

各事業の様子

通所・生活介護

生活支援員 小野寺桃子

生活介護2では、現在30名の方が通所されています。毎日、様々な活動に取り組みますが、できるだけ毎日、散歩に出るようにしています。四季を感じながら歩いて健康増進、気分転換にもなり、冬になつてからは雪の為にあまりたくさん歩けませんでしたが、散歩を楽しみにされている方がたくさんいます。

また月一回の選択活動では、スヌーズレンやカラオケ、パーティーゲームの中から自分で好きな活動を選択します。その中でもスヌーズレンはゆったり過ごしたい方に人気の活動です。逆にカラオケ



め、忘年会では入浴剤をふんだんに使って「足湯」もしてみました。いつもの生活の場が一変して、まるで温泉地に来たかのように。節分には園に設置された自動販売機



やパーティーゲームではとても盛り上がりです！季節ごとの行事も皆で楽しんでいます。ハロウィンパーティーでは仮装してカボチャプリンを食べたり、年末には力を合わせて大掃除もしました。お疲れ様の意味も込

今後も やりがい を持って 楽しめる 活動を工 夫してい きます。



行うのは初めてで、身近でジュースを買うの幸せを皆で噛みしめました。もちろん、鬼退治もしっかりやりましたよ。3月には、ポップコーンメーカーで作ったポップコーンのお振る舞いもありました。実はこのメーカー、グループ活動でほのぼの班が回収した空き缶に貼ってあったシールをこつこつと貯め、交換してもらったものなんです。皆の作業の成果が思わぬ形となりま



でジュースの購入も行いました。通所生活介護の全員が一緒に

各事業の様子

「就労継続支援B型」

生活支援員 山下 大輔

就労継続支援B型では、11月に今年度2回目の日帰り旅行を行い、盛岡手づくり村へ行ってきました。レタラック作りと煎餅焼きの体験や、買い物をして満足されている方が多かったです。年末には忘年会を企画し、「まゆの里」(自



立生活訓練施設)でカラオケやゲームを行い、みんなでお菓子を食べて楽しい時間を過ごしました。また、「設置された自動販売機からジュースを購入してみんなで飲みたい」との声が利用者から上がり、それを毎月の例会の日にする



ことを自主的に決めて続けています。例会は利用者の皆さんからは要望や頑張りたいこと、楽しみにしていることが数多く出て、とても大切な会となっております。10月下旬、さつまいも



の収穫を最後に今年度の畑作業は終了となりましたが、早くも来年度の畑作業に意欲を見せる利用者さんもいます。

工賃については、平成29年1月より作業能力を加味した支給方式に移行しました。その結果、徐々に評価を



に評価を意識しながら作業に取り組む方が多くなってきました。他の同種の事業所と比べればまだまだ低い工賃ですが、それでも着実に前年度の実績を上回ることができています。今後も利用者さんの声に耳を傾けながら余暇の提供と作業に意欲的になれるよう支援をしていきたいと思えます。

気持ち良い日差しと風に吹かれながら、秋の日帰り旅行へ！  
 入所は10/4(火)、10/18(火)、10/25(火)の3グループにわかれて、  
 『ホテル紫苑』へ。通所が10/13(木)、10/28(金)の2グループにわ  
 かれて、『えさし藤原の郷』へ。就労継続B型が11/3(木)に『岩手手作り村』へとそれぞれ行ってきました。

## 秋の日帰り旅行 10月4日(火)～11月3日(木)

### 入 所



### 通 所



### 就 労 B



## 外部ボランティアさんによる『お楽しみふれあい会』

外部ボランティアさんを招いての『お楽しみふれあい会』は平成28年度年間で5回開催されました。  
 10/27(木)矢巾町体育協会さんが『スポーツチャンバラ』を、12/16(金)矢巾・紫波町フラダンスサークルさんが『フラダンス』を披露してくださいました。  
 貴重な体験に、また見たい！またやりたい！と声が上がりました。来年度もぜひお待ちしております。



毎年恒例のふどうこども園の園児さん方との作業交流会。歌も披露していただき目じりが下がりっぱなしの利用者さん方でした。

# ふどうこども園作業交流会

11月22日(火)



染めたハンカチは卒園式でお母さんへのプレゼントになります

# 矢巾町歳末助け合い演芸会

12月11日(日)

勢いよく飛び出した翔隊、出だしに違う曲がかかるというハプニングにもめげず、立派に踊り切りました！(拍手)



厨房の富士産業さんとのイベントは、皆さん毎年楽しみにしています。この日は朝から「お寿司！お寿司！」と待ちきれない様子でした。

# 『お寿司の日』

3月10日(金)



### 平成28年度 離任式

3月31日(金)に離任式が行われました。退職、転出の職員を送り出すのは寂しさがありました。が、「元気でね」「頑張っつね。」に涙がありました。最後には笑顔がいつぱいの別れの時間となりました。



### 職員の異動・退職

#### ○退職

お世話になりました  
平成二十九年三月三十一日付  
書記 工藤 靖子

#### ○転出

平成二十九年四月一日付  
☆みちのく療育園で頑張ります  
主任生活支援員 佐々木朋生  
☆新生園で頑張ります  
書記兼生活支援員 沼田 真子

#### ○転入

☆みちのく療育園からきました  
主任生活支援員 菅原 滋輝

#### ○採用

平成二十九年四月一日付  
☆臨時書記 藤原美由紀  
☆臨時生活支援員(生活介護・通所) 阿部 佳敬  
よろしくお願ひします。

### 入所者

◇千葉朋樹さん 4月1日付  
入所を利用されています。背が高いイケメンです。  
よろしくお願ひします。

### お悔み

◆伊藤裕司さん 11月15日付  
「ご病気によりご他界されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。」

### 平成27年度の苦情受付・対応状況

内 容	申出人	対 応
1 職員の保護者への対応に関する事	保護者	・相互理解、継続
2 郵便物の取り扱いに関する事	保護者	・改善
3 職員の利用者への声掛けに関する事	保護者 民生委員	・相互理解、継続
4 利用者トラブルへの職員の対応について	保護者	・相互理解、継続
5 利用者の身体の異変に関する事	保護者	・相互理解、継続
計 4 件		

平成28年度は、苦情解決第三者委員会(虐待防止委員会を兼ねる)を11月と3月に開催しました。3月には、利用者さんと第三者委員の方との懇談会を行い園生活の様子や困っていることなどを聞いていただきました。

### ご支援ありがとうございました (28年度後期分)

- 12月 白石食品工業株式会社 様  
《クリスマスケーキ》
- 〃 生命保険協会岩手県協会 様  
《車椅子1台》
- 3月 株式会社公楽 ウインズ本宮 様  
《菓子、飲料》
- 〃 富士産業株式会社 様  
《お寿司の日職人さん派遣》

### 平成29年度 前期の主な行事予定

- 4月 歓迎会 お花見  
保護者会総会
- 5月 春の日帰り旅行
- 6月 ちゃぐちやく馬こ交流会
- 8月 まゆの里記念行事  
夏季休暇
- 9月 秋の日帰り旅行

### 編集後記

長い冬も終わり、また春が巡ってきました。『笑う門には福来ますね。今号もたくさん笑顔が伝わるいいなと思っています。』  
(K)